



つばさっ子

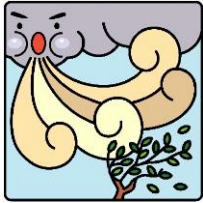
2013年 9月号



今月の行事



7日(土)	9:00~11:00	ひよこ懇談会
19日(木)	18:00~19:20	お月見会
27日(金)		お誕生日会
28日(土)	9:00~11:00	ぱんだ懇談会+試食会

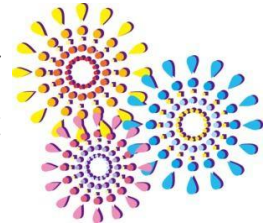


台風シーズン到来!!

気象警報発令の対応→気象警報が発令されている場合でも保育園は通常通り開園します。状況を見て保護者の方で判断してください。交通機関の状況によりお迎えが遅くなる場合は早めに園に連絡してください。

夏休みの事前アンケートご協力 ありがとうございました

昨年は、アンケートにはとりにあらず保育あり希望にしておいて当日電話で欠席の連絡される家庭が多く、給食の食材がたくさん無駄になりました。今年は、そうならないように「つばさっ子7月号」でもお願いをしていました。結果、多くの家庭が夏休みに変更があれば前もってこまめに保育士や事務室に連絡を入れてもらったので、助かりました。ご協力ありがとうございました。



お泊り保育(8/2・3)

詳しくはぞうぐみのページで♪

朝起きると・・・
なんだ?!あの木は!



近づいてみると・・・
木に何かついている!



ブタのパンだ!



朝ごはんにいただきまーす

8月の行事

仲嶺 真弓

8月は、お泊り保育や小学校のプール遊びと、何かと5歳児が新しい体験をすることが多い月でした。

お泊り保育は前日まで「寝る前に帰る！」と宣言していた子もいて、本当に全員がお泊り体験できるのか、保育士もドキドキしていましたが、泣いてぐずる子もなくて、無事に全員が体験できました。詳しくは、ぞう組のページに載せていますのでお楽しみ下さい。



8月24日(土)には、つばさが丘西地区の夏祭りに園として初めて参加しました。地域のお祭りにどんな風に関わっていけるのかわからず、今年はできるところで参加させてもらうことにしました。つばさっ子には、夏祭り会場の看板作りと祭りのオープニングを飾ってもらうことにしていましたが、当日はあいにくの雨模様で、予定していた4・5歳児の“南中ローラン” “さあさみんなでどっこいしょ”も、子どもたちが雨に濡れて体調を崩しても・・と思い、涙を呑んで中止という判断をしました。子どもたちが楽しみにしていただけに、本当に残念でした。

職員は、朝の準備、最終の片付け、焼き鳥コーナーのお手伝いをして汗を流しました。できるところでの参加でしたが、自治会の方や夏祭り実行委員の方には、「子どもたちのオープニング、見られずに残念！ 来年も参加してくれますか？」「助かりました。来年もよろしく。」という声をいただきました。ぜひ、来年も参加して地域の人との関わりを大事にしていきたいと思います。

♪つばさが丘西夏祭り♪



焼き鳥ブースにて

つばさっ子で作った看板



来年も
地域の皆さんと
楽しくやれたらいいな



7月20日(土) 和歌山信愛女子短期大学 学生5名 つばさ共同保育園見学

※以下寄せられた感想です。

つばさ共同保育園を見学させていただいて、とても温もりのあるアットホームな園だとも思いました。園舎は木で作られていて、鉄筋で作られた園舎に比べ、温もりを感じ、木の香りがしてほっとでき、落ち着ける空間でした。また、園内を見学させてもらったときには、子どもたちが柱にのぼって遊んでいたり、木のおもちゃで遊んでいたりしていました。子どもたちの様子を見ていると伸び伸びと過ごしていると思いました。

つばさっ子通信をみせていただきました。園だよりのイメージが、1枚の紙というイメージだったので一つの本になっているのに、とても驚きました。内容もとても濃いもので、各クラスのことが細かく書かれていたり、子ども一人ひとりの出来事が書かれていたり保護者の方にとっては自分の子どもをきちんと見てくれていると感じることができると思いました。

また、3歳児クラスの懇談会を見学させていただきました。一人ひとりが意見や思いを伝えていてとても内容の濃いものでした。子育ての悩みを打ち明けることができ、保育者やほかの母親の意見を聞くことができ、とてもいい場だと思いました。また、保育者と保護者の関わりを見てお互い悩みを打ち明けられたり、話し合えたりできる仲だと思いました。

今回つばさ共同保育園を見学させていただいて、保育者、保護者全員で共に作り上げていく保育園だと感じました。とても理想の保育園でした。私が保育者になったとき、保護者の思いを受け止め、互いに助けあい成長できるような関係になりたいです。ぜひ、機会があれば、またつばさ共同保育園に見学に行きたいです。見学させていただき、多くのことが学べ、吸収できました。ありがとうございました。

北林柚希

つばさ共同保育園を見学させていただいて、とても良い勉強になりました。

まず、園の造りが変わっていて、木でできていたのは初めて見たのでとても驚きました。そして、クーラーがかけられていないのにととても涼しく風通しがよかったので、子どもたちもとても過ごしやすいだらうと思いました。

先生と保護者の関係も「ちゃん」付けで呼んでいたりと、とても保護者と先生との間に距離がなくとても親密な関係だと感じ、和歌山では考えられないと思いました。そして、保護者懇談会も今までは担任一人が保護者に対して園や自分の要求を伝えるだけだと思っていましたが、つばさでは保護者が意見を言い合ったり、園長先生が懇談会に参加し、意見を言ったり助言したりしているのを見て、このようなやり方が他の園でも取り入れられればよいと思いました。

この懇談会も母親だけでなく、祖父母、父親の懇談会もあると聞いてとても驚きました。そして、祖父母にも悩みがあるんだと思いました。なので、私が保育者になったときにたくさんの人の悩みを受け止め、何か助言できるようになりたいと思いました。

今回の見学では驚くことがとても多く、和歌山の保育園と違うことが多かったです。そして、和歌山の保育園もつばさ共同保育園のような取り組みをしてほしいと思いました。

今回は見学させていただき、ありがとうございました。

粟田紗和

つばさ共同保育園を見学させてもらって、一番感じたのは、温かさです。行かせてもらう前から、アットホームな雰囲気のある保育園だと聞いていたのですが、身をもって感じる事ができました。園舎を見学させていただいた時の保育されている先生方の姿からも温かさを感じました。

園舎を見学させていただいて、保育室に仕切りなくトイレが設置されているのを見て、驚きました。市原先生は「トイレの汚いというイメージをなくすために保育室に設置した。」と

おっしゃられていました。本当にきれいにされていて、汚いイメージはありませんでした。

子どもたちは、「お姉ちゃん。」と言って寄ってきてくれました。アットホームな保育園でたくさんの人が訪れる保育園だからこそ、子どもたちもいろんな人と関われるのではないかと感じました。

3歳児のクラス懇談会に参加させていただき、先生と保護者の方が本音を話されている様子を拝見させていただきました。保護者の方は、あまり自分の子供について話したくないのではないかと感じていましたが、積極的に話されていました。どのようなことを話しても、受け止めてくれる先生がいるからこそ、思い切って話せるのだと感じました。クラス懇談会だけではなく、父親懇談会、祖父母懇談会なども行われていると聞いて、子どもと関わる人みんなが、子どものことについて考えられる機会ができて良いと思いました。それぞれの立場から、子どもについての悩みや不安はあると思いますが、懇談会を開くことで、解決されるのではないかと思います。

つばさ共同保育園のような、アットホームな温かい園がたくさんになれば良いなと思いました。

松下杏実

初めてつばさ共同保育園を見学させていただき、よく見る保育園の雰囲気とは違うことにとても驚きました。木で造られていて家のようにあったかい場所だと感じ、子どもたちが安心して園生活が送れるようにされていると感じました。

先生のお話を聞いて、今は命が軽んじられているということにも気付くことが出来たと思います。教育がしっかりと受けられるようになっていくなぜ事件が起きてしまうのかということをとて疑問に感じました。教育をしていく上で何を目的にしているのか、どのような気持ちを育てたいかということをしつかりと考えていくことが必要であり、これらを考えていくことが今後の目標であると思います。

つばさ共同保育園では、懇談会がたくさん行われていることを知り、保育者や保護者などみんなで共に子どもを育てているということを感じ取ることが出来ました。保護者の不安や悩み、保育者のしんどいことや不安なことをみんなで話し合う機会を持つことで、子育てに関していろいろなことを考えることが出来ると感じました。また、情報交換も出来るので知識が増え、余裕をもって子育てをすることが出来ると思います。他の園ではあまり見られない父親懇談会、祖父母懇談会が行われているというところにもとても魅力を感じました。子育てをしていくには、やはり父親の力が必要になることも多いので父親に情報を提供するため、父親同士が交流を深めるためにも懇談会は必要だと感じました。祖父母も、今は子育てを焦らせてしまっている人が多い傾向にあることを知り、もっとゆったりと子育てが出来よう、保育者が祖父母たちに伝えていくことが大切だと学ぶことが出来ました。

保育方針である「ゆるがない、ゆるがせない」という言葉はとても印象に残っています。色々なところから情報を得ることが出来るようになった今、間違った情報などもたくさんあるので、それに流されず本当に正しいことを見極められるようになることはとても大切だと感じました。

今回、つばさ共同保育園の見学をさせていただき、色々なことに気づき、学ぶことが出来ました。大人同士でも子ども同士でも、また大人と子どもであっても自分の気持ちはしっかりと伝えること、相手の話をしっかりと聞くこと、お互いが納得するまで話し合いをすることの大切さを改めて感じさせられました。今、自分の気持ちを言葉で表現する力が弱くなっていると思うので、これからの保育で子どもたちにこの力をつけていけるようになりたいと思います。和歌山にはつばさ共同保育園のような保育園がないので、これから増えていけばいいなと感じました。今回学んだこと、感じたことをしっかりと次の学びに生かしていきたいです。

お忙しい中、お話・見学ありがとうございました。

今嶋 郁奈

私は今回のつばさ共同保育園を見学させてもらい極めて驚きました。
アトムに関する書籍などを幾つか読ませていただきました。私が学校や実習先で学んだこととは異なった考え方などがあり、心を惹かれました。
先生からもアトム、つばさに関するお話を聞かせてもらい今回の見学は非常に楽しみでした。
実際見学させてもらい関心、驚いた点がいくつかあります。一番驚いたのは園の外観、構造です。園に入ると良い畳の香りがし、木の温かみを感じました。日照り、風通りも良く心地よさを感じました。施設実習、幼稚園実習などでは感じたことのない温かみを建物そのものから受け取ることができました。
保育室自体も締め切られた空間でなく保育をクラス単体でなく大きな一つの建物の中で行っているのだと思いました。
市原先生のお話の中にも心打たれたものがたくさんあります。
6月の幼稚園実習中子どもたちが英語や体育、硬筆など行っている姿を幾度とみてきました。もちろん楽しんでいる子どもたちもたくさんいました。しかし中にはそれを苦痛に感じているような子どもたちもいました。小学校に上がれば区切られた時間の中で、集団に合わせながら行動することが必要だと思います。幼稚園ではそれを踏まえたうえで多くのプログラムを設定しているのだと思います。私はそのプログラムに絶対反対というわけではありません。しかし市原先生のお話を聞いて、子どもはもっと子供らしく過ごすことが一番子どもにとって良いのではないかとと思いました。
また懇談会を見学させてもらいその中で「子どもの喧嘩」についてお話をされている場面がありました。ほとんどの園では喧嘩をしたら「ごめんね」「いーよ」で終わらしてしまうのですが、市原先生は納得するまで喧嘩をさせるという内容のことをお話していました。
私はその時子どものとき思っていたことを思い出しました。子どもの頃は「どうして?」「なんで?」と思うことがたくさんありましたが、大人は「そんなことはどうでもいい」と相手にしてくれませんでした。子ども同士の喧嘩や遊びに対して大人が勝手ルールを決め子どもを叱り、と納得できないことが多かったです。
保育の現場に出てみると子どもたちの疑問や感情にすべて対応するというのは非常に難しいと感じました。その上で子どもに不満を抱かせてしまうことも多々あったと思います。
市原先生のお話を聞く中で私は難しくても子どもたちの気持ちにもっと寄り添いたいとおもいました。
現代の子ども取り巻く環境は良いものであるとは思いません。特に子供を育てる母親に対して優しい社会ではないと私は思います。保育士はその母親、家族を支援していくことが大切なのだと感じました。母親自身が抱えている問題を母親、保育士を交え皆で解決していくことが重要であると思います。市原先生が主となり行っている保育は、それ非常にレベルの高いところで再現していらっしやと思います。教科書や文献にはたくさんの子育て支援について書かれています。ほとんどの保育士、保育士の卵たいはきっとそのことを理解していると思います。しかしそれを実際形として起こすのは極めて困難であると思います。実現するには市原先生のように社会や親たちに惑わされない保育の信念を持つことが必要だと感じました。
今回の見学で沢山の刺激を頂くことができました。もう一度私が目指しているものは何か?子どもにとって一番必要なことは何か?と考える機会を持てることができました。
非常に良い経験となりました。ありがとうございました。

柳瀬 綾香